

現地組立型単心SCコネクタ 光ファイバコード型クイックSC



ETK1223153H

取扱説明書

⚠ 安全にお使い頂くために

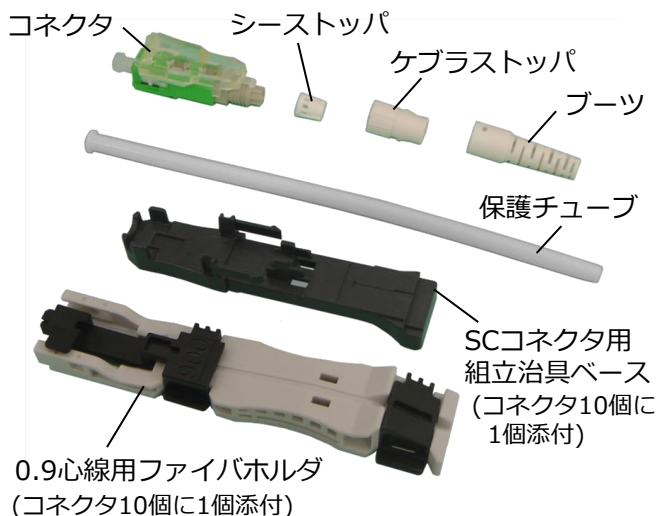
本製品は安全性を十分に考慮して設計しています。しかし、間違った使い方をする、事故や製品の故障につながる恐れがあります。事故を防ぎ、安全にお使い頂くために次のことを必ずお守りください。

- ★光ファイバおよび光ファイバ屑は小さく、先端が鋭利です。指に刺す、目に入る、と怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。作業中は **安全メガネを着用** してください。
- ★コネクタ端面や光ファイバ端面を **のぞき込まない** てください。強い通信光が出ている場合があり、目を傷つける恐れがあります。通信光は目には見えませんので十分注意してください。
- ★高所での作業の際には、組立工具を落とさぬ様にご注意ください。(リストストラップ等をご使用ください)

⚠ 必ずお読みください

- ①組立方法を誤ると本来の性能が得られない場合があります。**本説明書をよくお読みになって**からご使用ください。
- ②本製品はチリ・ホコリが大敵です。コネクタはご使用の**直前に開封する**様お願いいたします。
- ③本製品は切断面により特性が大きく変わります。良好な切断特性を有するカッタを使用ください。
- ④コネクタへの**ファイバ挿入はゆっくり**と行ってください。乱雑に挿入した場合、ファイバが破損して工事不良につながる可能性があります。折れたファイバが飛散する恐れもあります。
- ⑤異物の混入による光損失増を防ぐため、ダストキャップはコネクタを**接続するまで外さない**でください。
- ⑥コネクタ内部には適量の屈折率整合剤を充填しております。コネクタへの**ファイバ挿入を2回以上行わない**でください。

構成品



本コネクタの組立には、上記構成品の他に工具が必要となります。予めご準備下さい。

必須工具



おすすめ組立工具

1. ハンディ光ファイバカッタ
2. 精密ニッパ



3. ジャケットリムーバ (φ0.25/0.9mm心線の被覆が除去できるもの)



4. 可視光漏れ確認キット

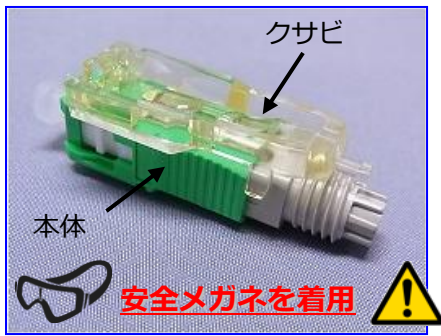


【お問い合わせ先】 住友電気工業株式会社 光機器事業部

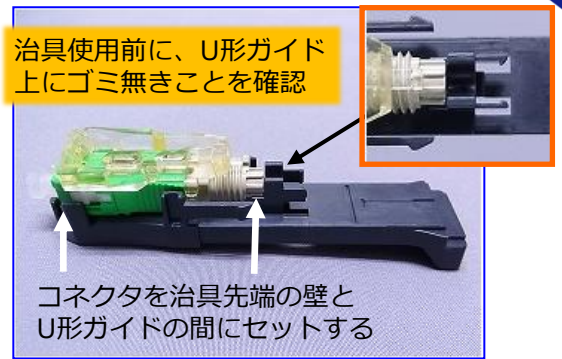
TEL (045) 853-7225

FAX (045) 851-1286

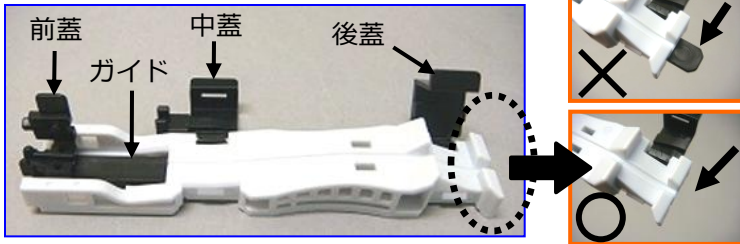
【1】コネクタ準備



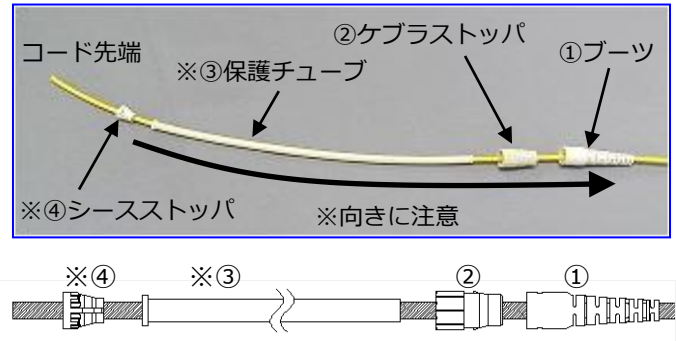
【2】コネクタを治具にセット



【3】ホルダの準備

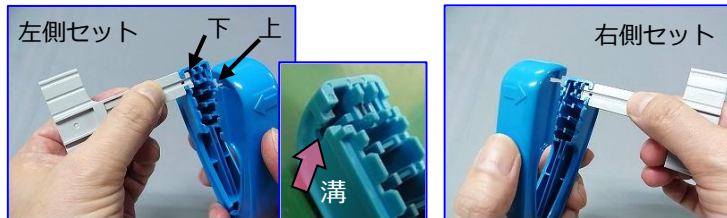


【4】光コードに部品を通す (番号順に挿入する)

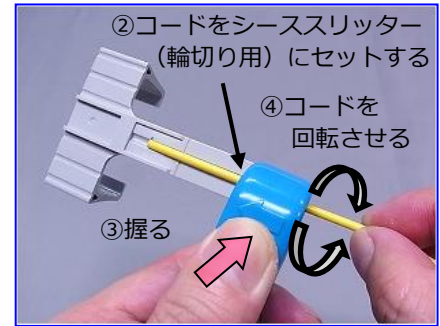
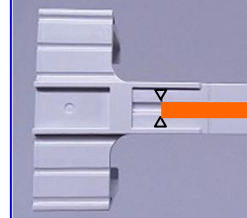


【5】シースの除去

①ゲージガイドをシーススリッター (溝) にセットする



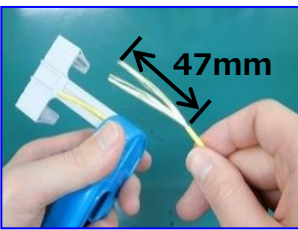
コード先端セット位置



ゲージガイドは上下に取り付け可能です。上下切り替えることでセット方向が利き手に応じて左右に切り替わります

△マークに合わせてください

【6】ケブラを引っ張る

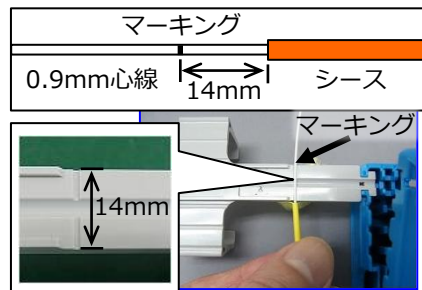


⑤シースを剥ぐ

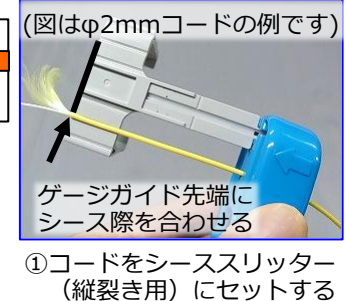


手間隔 50~70mm

【7】心線被覆除去位置にマーキングを施す

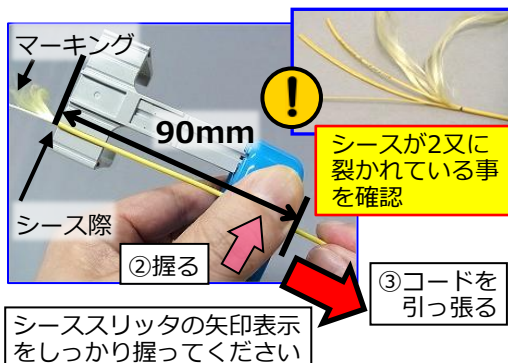


【8】シースを縦裂きする

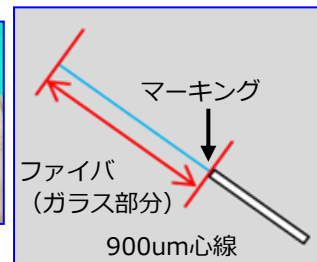


①コードをシーススリッター(縦裂き用)にセットする

コード外径によりセット位置が異なります

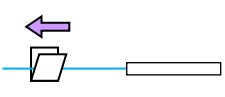


【9】心線被覆の除去



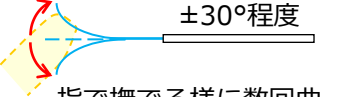
2~3回に分け、最後の1回が心線のマーキング位置となるように被覆を除去する

【10】ファイバの清掃



ガーゼに無水アルコールを付け、円周方向に数回拭き被覆層を取り除く

【11】スクリーニング



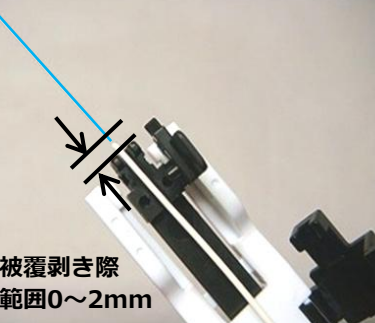
±30°程度
指で撫でる様に数回曲げて折れないことを確認

上
左 ← ○ → 右
下

折れた場合は [5]項からやり直してください

【12】ホルダに心線セット

ファイバをホルダの溝に入れ、セットする



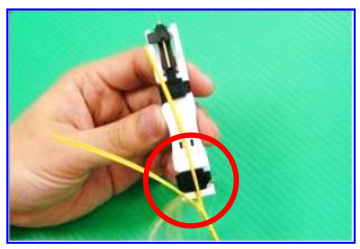
被覆剥き際 範囲0~2mm



1 2 3

ファイバが動かないように指で押さえて、前蓋、中蓋、後蓋の順に閉じる

【13】ファイバカット



ファイバホルダ上にシースを乗せておくと以降作業し易くなります



④カバーを押す

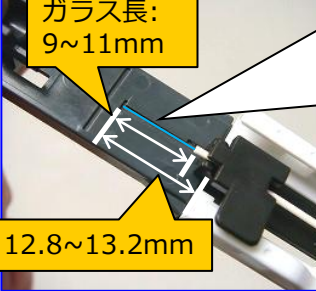
①スライダを押し込む

②フォルダを乗せる

③ファイバホルダをしっかり突き当てる

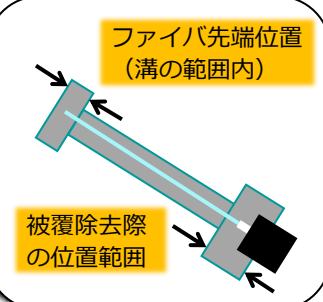
※当社製FC-8R-MC使用の場合

【14】カット長の確認



ガラス長: 9~11mm

12.8~13.2mm



ファイバ先端位置 (溝の範囲内)

被覆除去際の位置範囲

※寸法が合っていない場合は [5] 項からやり直す


【15】ファイバ挿入①



ホルダを治具上のセット線に合わせて、U溝にファイバを落とし込む

U溝

ファイバ挿入②



ファイバ先端を当てないように注意する

中蓋を突き当てる

止まるまでホルダをゆっくりスライドさせる

ファイバ挿入③

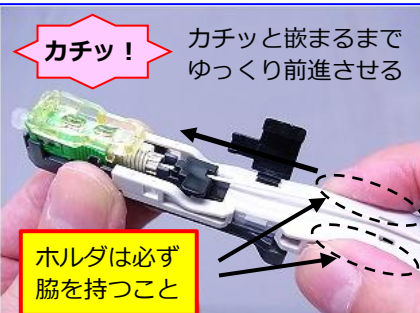


中蓋を開ける

注意!

中蓋を開けないと、挿入ファイバと内蔵ファイバが突き当たらず、損失高となる恐れがあります

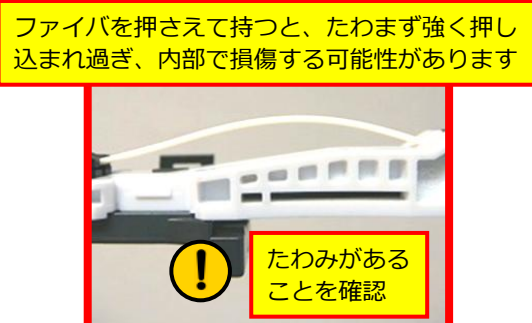
ファイバ挿入④



カチッ! カチッと嵌まるまでゆっくり前進させる

ホルダは必ず脇を持つこと

【16】ファイバのたわみを確認する



ファイバを押さえて持つと、たわまず強く押し込まれ過ぎ、内部で損傷する可能性があります

たわみがあることを確認

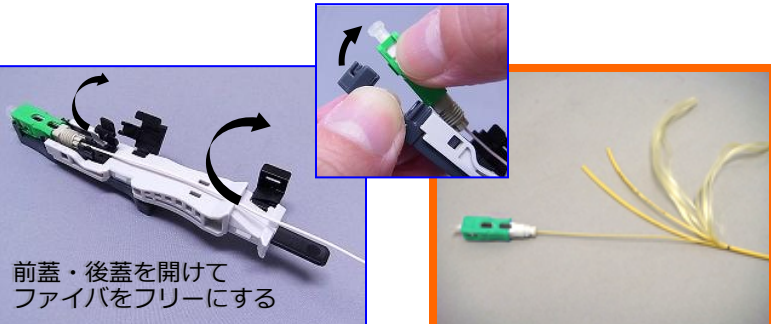
【17】クサビを取り外す



①ロックレバーを解除

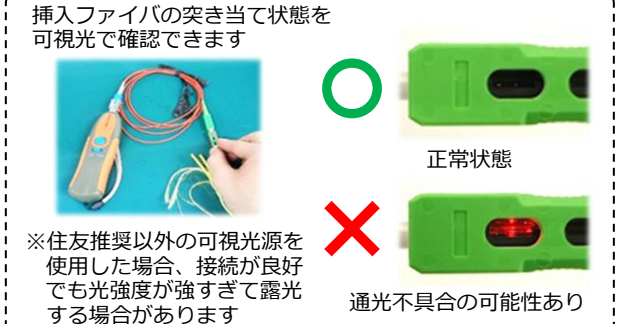
②解除アームの中央部 (矢印で示す部分) を押し、クサビを外す

【18】コネクタを取り出す



前蓋・後蓋を開けてファイバをフリーにする

【19】可視光によるチェック



挿入ファイバの突き当て状態を可視光で確認できます

正常状態

※住友推奨以外の可視光源を使用した場合、接続が良好でも光強度が強すぎて露光する場合があります

透光不具合の可能性あり

接続不良の場合

右の方法でファイバを再押し込みすることにより、接続面が適切に接触し改善する場合があります

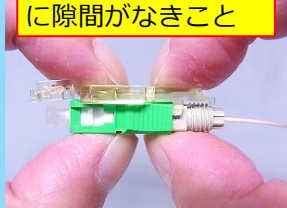
【1】再度コネクタにクサビを取り付ける

【2】挿入されたファイバを押し込み、再度たわみを作る

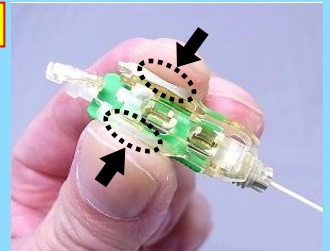
【3】たわみを保持したままクサビを外す

クサビとコネクタ間に隙間がなきこと

コネクタからファイバを引き抜かない



コネクタ先端から80 +/- 10 mmの位置でファイバを保持

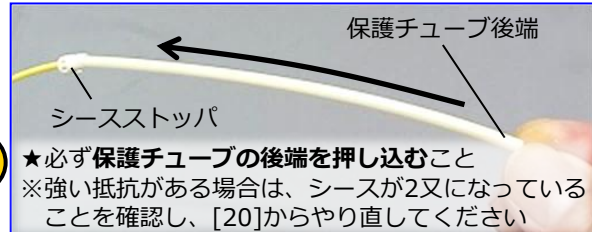
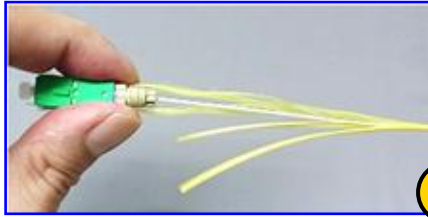
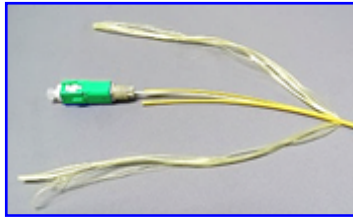


★重要：作業中はファイバがコネクタから抜けないように保持すること

【20】 ケブラを2分割する

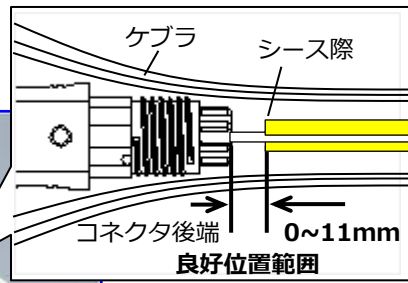
【21】 ケブラをコネクタに添わせるように抑える

【22】 保護チューブの後端をゆっくり押し込みシースストップと保護チューブをコネクタに引き寄せる



★必ず保護チューブの後端を押し込むこと
※強い抵抗がある場合は、シースが2又になっていることを確認し、[20]からやり直してください

シース際の位置確認



※シース際が長すぎる場合は切断ください
※シース際が短すぎる場合は廃却し最初からやり直してください

★シースは固定されません

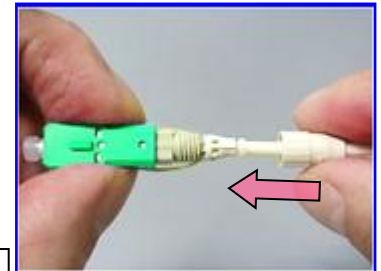
【23】 シースストップをコネクタ後端に嵌め込む

【24】 ケブラストップをコネクタに引き寄せる



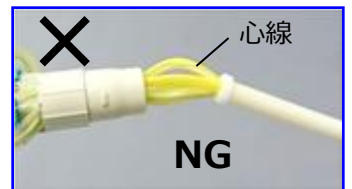
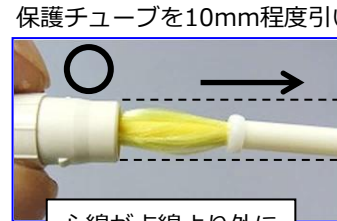
①保護チューブの後端を更に押し込み、コネクタ後端に近づける

②シースストップをコネクタ後端に嵌め込む



【25】 ケブラストップを接続する

【26】 心線のたわみを確認



※確認良好後は、保護チューブを再度ケブラストップに寄せる(必ず保護チューブ後端を押し込んで実施のこと [22]参照)

ケブラを保護チューブの中でたるませない、またネジ締め時にケブラが巻き込まれないように、ケブラをコネクタ横に添えてしっかり固定しながら実施ください
(※写真のようにキャップを押さえてS Cツマミを固定するとS Cツマミが動きにくいです)

<NGの場合>
ケブラストップを外して [20]項からやり直してください

【27】 ブーツ取り付け 【28】 ケブラ除去 (より美観をよくするコツ)

ケブラを引っ張りながら精密ニツパで根元を切断する

